

令和4年4月1日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況について（自己評価・学校関係者評価）

| | | |
|--------------|----------|-------|
| 三重県 | | |
| 学校名 | 管理機関名 | 設置者の別 |
| 松阪市飯南中学校（外校） | 松阪市教育委員会 | 公 |

1. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本校の教育目標である「未来を築く」をめざして、「探究する確かな学力」、「自ら伸びる健やかな体と豊かな心」、「自分や地域の良さを語るたくましい生徒」、「地域とともにある信頼される学校」を教育重点目標として取り組んでいる。また、生徒アンケートの回答結果からは、「人間と社会の時間は充実している。」という設問に対して93%の生徒が、「地域の行事に参加していますか」という設問に対し、76%の生徒が肯定的な解答をしている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

特別の教育課程では、「人間と社会」の授業や活動の中で、地域の人たちから話をきいたり、見学・体験といった学習や発表したりする活動を多く取り入れ、「身につけさせたい資質・能力の育成」と「コミュニケーション能力の向上」を目標にした授業づくりを目指してきた。また、小中高の12年間における教育の連携・コミュニケーション力を培う教育の連携をめざしている。

2. 課題の改善のための取組の方向性

1にもあるような課題や、自分の思いや考えを人に伝えることを苦手と思う生徒が多いという実態に対して、今後も各学年の目標と内容を系統的に計画し「キャリアプランニング能力」を育てていく。さらに発表の機会を多く行うことでコミュニケーション力の向上につなげていく必要がある。また、社会人講師等の人材確保を今後も進めていくことが必要である。また、今後もたくさんの成功体験を積み重ねると共に、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する態度を育てていかなければならない。

3. 特別の教育課程に基づく教育の評価について

| | | |
|-------|---|-----|
| 生徒 | 「あしやまタイム」や「人間と社会」の時間は充実している。 | 93% |
| 保護者 | 子どもは、「あしやまタイム」や「人間と社会」の時間を意欲的に取り組んでいる。 | 90% |
| 学校関係者 | 中高連携活動の深化が進むなか、地域を学びの場として推進し、「人間と社会」を中心としてキャリア教育をさらに充実させるとともに、持続可能な取り組みにすることが大切である。 | |
| | この地域の地域力は高いので、CSを活用して地域の力を子供たちの教育に生かす工夫を熟議していく必要がある。 | |